

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0270500309		
法人名	医療法人守生会		
事業所名	医療法人守生会グループホームひまわり		
所在地 (電話番号)	〒037-0016 青森県五所川原市一ツ谷字一ツ谷508番地12 (電話) 0173-34-5551		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成22年1月21日	評価確定日	平成22年3月19日

【情報提供票より】(平成 21年 12月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 10月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 5人, 非常勤 4人, 常勤換算	6.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5 階建ての 階 ~ 4 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	6,000 円	その他の経費(月額)	6,000~冬期12,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(12月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1		名	要介護2	1	名
要介護3	3	名	要介護4	1	名
要介護5	3	名	要支援2	1	名
年齢	平均 89.7 歳	最低	79 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人守生会 中村整形外科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>整形外科医院の4階フロアー全部を使用し、1ユニットのグループホームを運営している。ホームは医院の上部階に設置されているため、建物内にある診療所の医師や看護師が様子を見に来てくれるなど、利用者や家族には安心していただけている。近隣は、住宅と商業店舗の立地にあるが、町内会や近所の小学校などと交流があり、地域の中では、ホームの存在が十分認知されている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で、認知症普及活動への取り組みが改善課題となっていたが、その後、キャラバンメイト・サポーター養成講座を3名が終了し、12月には町内会での普及活動に取り組んだ。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価事業の具体的な意義を理解し、自己評価を職員全体で作成している。また、外部評価の結果を踏まえ、全員で向上に向け積極的に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は定期的開催され、行政、地域、家族などが参加し、事業所での出来事や取り組みを報告したり、地域での出来事に関するの情報提供を受け、サービス向上に取り組んでいる。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>苦情箱を設置しているほかに、面会時やケア会議の出欠の連絡時に意見や要望を聞く環境をつくり、職員で話し合い、サービスに活かしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域町内会の行事に参加したり、近所の理容店を利用している。また、小学生や老人クラブの方の訪問や、病院へ受診に来た方が立ち寄りなどし、地域住民との交流を図っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で見直しを行い、安心・安全に生活でき、地域の中でその人らしく暮らせるような理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日1回体操を始める前に利用者の前で理念を唱和している。また、ケア会議やケアプラン作成においても理念を含めた話し合いがされている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	納涼祭や文化祭、忘年会等の地域行事に参加したり、近所の理容店を利用し近隣住民との交流があるほか、小学校や老人クラブの訪問もあり、地域との交流が積極的に行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>1人に10項目程度を振り分け、個々に取り組んだ後は全職員で話し合い、まとめている。さらに改善点を見出し、改善に向けて取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催している。ホームの状況や外部評価の結果を報告し、意見交換している。助言はサービスの向上に活かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センター - 主催で月1回開催されるケア会議に参加し、運営やサービスの課題解決に向けた話し合いをしている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>内部研修を行い、権利擁護事業や成年後見制度について理解している。また、必要時活用出来るように一定の場所に資料を配置している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員は虐待にあたる具体的な行為を理解しており、虐待が見過ごされないよう注意を払い業務にあたっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前に必ず重要事項説明書の説明を行い、入居後はどのように暮らしていただくのか納得した上で契約を交わしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の日々の暮らしぶりや健康状態、受診結果を毎月お便りで報告している。面会時にも近況報告しているが、なかなか来られない家族へは電話で報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情箱を設置しているほかに、面会時やケア会議の出欠の連絡時に意見や要望を聞く環境をつくり、職員で話し合い、サービスに活かしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職が決まれば早い段階(1ヶ月前)で利用者・家族へその旨を伝え、ダメージの軽減に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画を作成し職員の資質向上を目的に外部研修はもちろん、ホーム内研修や個々の資格取得のための勤務体制が整っている。報告書は職員がいつでも閲覧できるようにしている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域ケア会議や地域での研修等へ参加し、交流を図っている。また、他グループホームを行事に招いたり、参加するなどし、情報交換の機会を設け、サービスの質を向上させる取り組みをしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者がこれまで暮らしてきた生活を大事にし、安心して暮らしてもらえるように本人や家族と面談するほか、ホームの見学に来ていただくなど、馴染みの関係づくりに努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々の暮らしが過剰な支援によりその人らしさが失われないように、一方的な考えは押し付けず、利用者の何が嫌で何が嬉しいのか等の感情を受け入れるように努めている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者との日々のコミュニケーションの中から思いや意向を引き出し、利用者の意見が反映されるようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を活用し、家族にも協力して頂き利用者に係る全職員が同じ方向性を持って取り組めるようにカンファレンスされている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的には3ヶ月に1回の見直しを行っているが、その間に状況変化が現れた場合は随時カンファレンスを行い対応している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院や外出などホームとしての利便性を十分に生かし、利用者の要望に沿った対応をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医との関係を大切に、入居後もかかりつけ医への受診を支援している。また、認知症対応力向上研修を終了した医師と医療連携を取っており、利用者一人ひとりに対応した体制がある。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医のほか、緊急時の搬送医療機関も家族と話し合い確認している。重度化しても継続してサ・ピスが受けられるように職員はその方針を共有し、支援できる体制・準備が整っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの特性を職員全員が把握し、排泄介助の声かけや誘導時にはプライバシーに配慮して支援している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	趣味・通院・自宅への外出(盆・正月、日帰り・宿泊)等利用者一人ひとりのペースに合わせ希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>下ごしらえや後片付けなど、利用者と職員は一緒に行っている。また、食事も同席し、職員はさりげなくサポートしながら会話を楽しみ食事をとっている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回午後を予定しているが、個々の習慣や睡眠パターンに配慮しながらも、洗身や長湯等に対し適切に支援する体制にある。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>職員からの押し付けではなく、利用者のこれまでの生活習慣や希望、力量等を把握し、自然に出来ることを見出し、役割や楽しみ事(洗濯ものたたみ・新聞たたみ・食材の皮むき・食器拭き等)を促す働きかけを行っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>年間行事に組み込んでいるほかに、買い物など利用者から希望があれば臨機応変に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束により利用者に及ぼす影響や弊害について詳しく理解し、何故いけないのかその都度確認し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	整形外科医院の4階フロアの為、鍵をかけないケアの実践に取り組んでおり、職員は外出傾向を察知できるよう見守り等を行い所在確認に努めている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回ホーム利用者、スタッフ、連携の医療機関職員が合同訓練(昼夜)を実施しているほか、緊急連絡体制はきちんと図式化され緊急時に備えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体の病院に栄養士が配置されており、バランスの取れた献立を基に食事提供をしている。また、体調などにより摂取量確認が必要な方の摂取量は、個人記録に記載し確認している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	母体の病院で使用している感染症マニュアルを活用し、対策の徹底を行なっている。利用者には、お茶でのうがいを実施しているほか、面会者などには玄関で消毒を行ってもらい外部からの進入を防いでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日中は利用者の好きな音楽(民謡・演歌)が流れ、くつろげるような居場所作りに配慮し、ソファ等配置やテレビの音量など、不快にならないよう考慮している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に本人の使い慣れた家具や位牌などを持ち込んでおり、家具の配置も使いやすく配置され、過しやすいように工夫されている。</p>		

 は、重点項目。